

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町 1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

TOKYO 自民党は、4月23日投開票で行なわれる大田区議会議員選挙に押見りゅうたさんの公認を決定し、必勝を期しています。押見りゅうたさんは、大田区政に臨む決意を力強く語っています。

# 鷺の木・千鳥・南久が原地区に責任を持つ区議会議員として!

防災安全対策副委員長  
おし  
み  
押見りゅうた  
さん



## この4年間で携わったこと

- ・大森七中・東調布第三小の全面建替え
- ・調布地区に十数年ぶりとなる特別養護老人ホームを千鳥町に整備
- ・鷺の木地区に数多くの保育園を誘致し、他地区に先駆けて待機児童ゼロを実現
- ・物価高対策として、学校給食食材費の追加補助や子育て世帯向けインフレ手当(所得制限なし)を実現
- ・蒲田・調布地区に不足している分娩施設開設のサポート
- ・医療的ケア児の保育園や小学校入学のための体制整備
- ・鷺の木三丁目医師常駐の障がい者グループホームを整備
- ・田園調布せせらぎ館やせせらぎ体育館、田園調布水防センターの整備
- ・行政改革で、DXやEBPM(データを基準とした政策提言)の導入を推進
- ・セブナイレブんにAEDの設置 等

## 4期16年の実績

- ・羽田空港⇄蒲田駅間シャトルバスの開通
- ・羽田空港⇄田園調布・久が原・武蔵新田駅間リムジンバスの開通
- ・鷺の木特別出張所・嶺町小学校の建替え
- ・学童保育の民営化・サービス拡充
- ・東急沿線自転車駐輪場の整備 等

## 押見りゅうたさんのプロフィール

昭和49年2月4日大田区雪谷大塚町生まれ。49歳(祖父の代から大田区民です)

調布幼稚園・調布大塚小学校を経て、神奈川大学法学部法律学科卒業。ゼミでは家族法を専攻し、夫婦別姓や非嫡出子の遺産相続等を研究。学生時代から神奈川7区選出の元文部科学大臣鈴木恒夫元代議士(自民党)のもとで学び、サラリーマン生活を経て、平成19年大田区自民党初の一般公募の候補者として選出。3人息子の父親。

平成19年4月 3,113票を頂き初当選。(33歳)  
大田区議会では初の一般公募出身での当選

平成23年4月 3,723票を頂き二期目当選。(37歳)

平成27年4月 4,023票を頂き三期目当選。(41歳)

平成31年4月 3,659票を頂き四期目当選。(45歳)

【現在】 防災安全対策特別副委員長  
自民党大田区民連合政調副会長・  
総務副会長・会計担当  
まちづくり環境委員  
議会運営委員

多摩川少年野球連盟 顧問  
大田区小学生バレーボール連盟 特別顧問  
東京都理容生活衛生同業組合大田支部 顧問  
鷺の木二丁目町会 鷺の木東町会員  
久が原栄会会員 田園調布消防団第三分団員

【過去】 自由民主党大田区民連合 幹事長  
大田区監査委員(2期)  
総務財政委員長 議運委員長 決算委員長 等歴任

【趣味】 川崎フロンターレの大ファン・旅行(訪問国25か国以上の貧乏旅行)・食べ飲み歩き

### 日本のため 子どもたちや若者の未来のため 私たちに何ができるのか 何をしなければいけないのか 一緒に考えよう!

## 押見りゅうたさんの政策 これからの約束

- ・子育て世帯に選ばれる大田区へ向けて、さまざまな政策提言を行います。
- ・『分娩施設の増加』『幼稚園改革』『学童保育の充実』『パパの育児休暇』等、安心して子どもを産みやすい育てやすい大田区に!
- ・特に行政との接点が希薄となり虐待等も多く発生している0~2歳児へのフォローする仕組みを作ります!
- ・レベルが高いと言われる大田の学校給食を無償化します!
- ・元 保健福祉委員長として障がい者やお年寄りが、健常者や若者とふれあい手をつなぎ、また自立できる安心・安全社会をめざします!
- ・防災安全対策副委員長として『地域防災力』の強化、災害、特に水害に強いまちづくりを進めます!
- ・大田区役所に積極的にDXやEBPMを導入し、区民満足度を高めます。
- ・議会のレベル向上を行い、たゆまぬ議会改革や行政改革に努めます!
- ・私たち30代・40代の責任世代・現役世代が活躍できる大田区を!
- ・佐藤大助元区議長、川上智由元区議長の後継者として、鷺の木地区の皆さまのために全力を務めます!

押見隆太  
後援会事務所

〒146-0084 大田区南久が原2-11-11 (事務所)  
〒146-0091 大田区鷺の木2-41-2-503 (自宅)  
03-3750-0202 (事務所) 03-5744-1480 (議会)  
oshimix0204@ybb.ne.jp



# 「区民満足度の向上と選ばれる自治体づくりへ」

令和2年以降、大田区では転出超過が大きな課題となっており、特に働き盛りの子育て世帯の減少傾向が顕著となっています。令和7年には、団塊世代の皆さんが75歳以上の後期高齢者となり、若い世代の区外流失は、支える側の減少による自治体の持続可能性にも影響を与えるものとなります。こうした状況を踏まえ、私たち大田区議会の自民党は、選ばれる自治体づくりに全力で取り組んでいます。

※「転出超過」：区外に転出した方の数が、区内に転入した方の数を上回った状態。

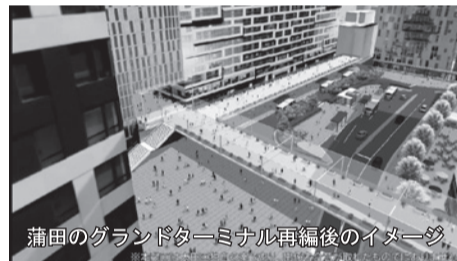
## ①子育て世代に選ばれる環境整備を！

子育て世代が仕事をしながら、安心して子ども育てることが出来る環境を作るため、平成27年より私たちは認可保育園等の整備を促進し、令和3年4月に待機児童ゼロを達成しました。また、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略による影響を受けた原油高、物価高騰への対策として子育て世帯への特別給付金事業の実施（所得制限なし）、子ども医療費無償化制度の高校生への拡大（今年4月から実施）などを実現してきました。また教育分野においては、不登校の子どもたちに魅力ある学びの場を提供し、個性を伸ばしていくため不登校特例校分教室「みらい教室」の整備を進めました。引き続き、子育て世帯が安心して出産、育児を行っていくことが出来るようこども関連予算を増やし、周産期の支援体制の強化、就学費用の負担軽減、魅力ある学校づくり等に取り組んでいきます。



## ②新空港線とこれからのまちづくり

昨年、大田区の長年の悲願であった新空港線の整備に向けた取り組みが大きく前進しました。新空港線はJR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の800mを鉄道で結ぶことにより区内の東西交通の利便性が向上するだけでなく、東京圏北西部とつながり広域的な鉄道ネットワークが形成されます。また、区の最重要課題の一つである蒲田駅を含んだまち全体の機能更新（蒲田のグランドターミナルとしての再編）、踏切対策等、沿線まちづくりを併せて進めることにより地域の活性化にも寄与するものです。私たちは、新空港線（一期整備）の早期実現を目指すと共に、二期整備（京急蒲田駅～大鳥居駅）についても関係地域の皆様と協議を行いながら、具体的な整備検討に着手してまいります。



蒲田のグランドターミナル再編後のイメージ

## ③重層的支援体制整備事業の推進 ～切れ目のない支援～

ひきこもり、ヤングケアラー、8050問題など、複合化、複雑化した課題を抱える家庭へ、切れ目のない支援を行うための「重層的支援体制整備事業」の実施を求めてきました。結果、今年度より大田区では、「重層的支援体制整備事業」実施のための準備事業をスタートし、福祉関係の多機関連携によるチーム支援の強化と検証を進めています。また、社会的孤立等で自ら窓口におもむくことができない方への支援を強化するため、大田区ひきこもり支援室SAPOTAを開設しました。令和五年度は、「重層的支援体制整備事業」を本格実施し、だれ一人取り残さない大田区の実現を目指してまいります。



都議会議員

### 鈴木あきまさ

松原区政を継承し、あたたかさあふれる大田区政をつくってまいります。  
自民党区議団の皆様と一緒にがんばります！



## 私たちも応援しています！



大田区長  
松原 忠義



衆議院議員  
平 将明



前都議会議員  
鈴木 章浩